



編集・発行  
**熊日湯前・水上販売センター**  
 (代)小出堅太郎 小出忠紹  
 石田敏郎 尾前竜二 那須信一  
 球磨郡湯前町中里1830  
**TEL 43-2151**  
**FAX 49-1726**  
<http://www.taragi.com/>

## 手作りひなまつり展



湯前駅に隣接する「ふれあい交流センター湯～とぴあ」にて、手作りひなまつり展が、今月15日まで開催されています。「手作りひなの会(山浦艶子代表、14名)」によるもので、今年で12回目の開催。「地域活性化に役立てば(山浦代表)」と思い始めたのがきっかけですが、宮崎・鹿児島など他県からの

見学を含め、毎年4000名以上の来場者を誇ります。会場内には約1000点ものひな人形や、ひな飾りが展示されていますが、正面奥の特設ステージには、今年の干支にちなんだ「午」をテーマにしたひな飾りがあります。「<sup>ばんじ</sup>万事 <sup>うま</sup>馬九行久」と題された、縁起物の八宝炭に9頭の馬が乗り、周りを春駒で飾られた展示物は、デフレ脱却を念じて作成された力作です。お茶などのおもてなしもありますので、ゆっくりとご覧ください。

また来場特典として、①今年初節句を迎える方先着30組に、ウサギの手作りひなを、②今月3日の来場先着50名の方に、赤飯を進呈されるそうです。是非足をお運び下さい。開場時間：9時～16時 連絡先：43-4143まで (集合写真：手作りひなの会提供)



## 卒業記念のマグカップ作り



2月6日に、湯前小学校(西浦大蔵校長)6年生30名と、球磨支援学校(湯前町出身)1名による、卒業記念品のマグカップ作り(陶芸教室)が行われました。この行事は毎年行われており、湯前町老人会陶芸部(黒木一理部会長)の7名の会員

が、生徒たちに作り方の指導をされています。保育所などへも訪問して活動されています。児童は熱心に指導を聞き、自分専用のを作ったり、家族へのプレゼントを作ったりなど、各々個性豊かな作品に仕上がっていました。児童の栗原 泉さんは「外に広がらないように形を作るのが難しかった。焼いて色付けしてどんな仕上がりになるか楽しみです」とワクワクした表情で話してくれました。「毎年だが子どもたちの発想力には驚かされ、逆に勉強になる。元気をくれるし、やりがいがある。これからも続けていきたい」と指導された黒木さん。生徒たちは物作りの大変さ・大事さを学び、周りの人への感謝の気持ちを忘れない心を持ち、これからも益々成長してほしいです。



## 「くまにちプラネット」1月20日より開始！ 熊日購読のお客様に無料でお届けします

熊日のお客様専用の新しいウェブサービス(電子版)が生まれました。「紙面+ネット」で展開するから「くまにちプラネット」。PCだけでなく、スマホやタブレットにも対応。ネット時代にふさわしい「新たなライフスタイル」を応援します。



6つのボタンで  
ニュースに直結

お客様専用ウェブサイト「くまにちプラネット」の使い方はとっても簡単。「ニュースプラス」「暮らし&お役立ち」など、ジャンル分けされた6つのボタンからメニューに飛ぶことができます。タブレット端末やスマートフォン(多機能携帯電話)でも使いやすい画面デザインです。

主なメニューは

- 記者が撮影する県内各地の動画
- 「新生面」「社説」「射程」を読み上げ
- 紙面未掲載の写真・記事コーナー
- 熊本の花を毎日紹介する「きょうの花」
- みなさんの参加で作る「ワンテーマ投票」
- 懐かしい連載記事がよみがえる「連載プレイバック」
- 投稿コーナー
- プレゼントコーナー
- NIEコーナー …

魅力的なコンテンツがどんどん増えていきます

## くまにちプラネット購読者会員登録で、

くまモンが登場した2010年のレア写真から2013年ニューヨーク行きのもので熊日に掲載された記事の中から選び出した「とっておき」が満載の「くまモン“お宝写真帳”プレゼント!

※会員登録の仕方や、その後で不明な場合は、当店スタッフが訪問しお手伝い致します。登録方法の手引きもお持ちします。

## 多良木警察署だより

### 役場職員を名乗る男性からの不審電話に注意!!

本日2月14日午前10時ころ、あさぎり町役場を名乗る男から電話があり、「役場の保険課の者です。保険の払い戻しがありますが、請求期限が切れています。こちらで代わりに手続きをしようと思ひます。」金融機関はどこでしょうか。

等と言われ、電話を受けた方が不審に思ひ、「役場に行って手続きします。」と答えたところ、突然電話を切られるという還付金詐欺予兆事案が発生しました。



## 自治体等が、電話で医療費等の返還手続きをすることは、絶対ありません!

### 重要 防犯対策 重要

- 電話で即答しない**  
(相手の名前、連絡先を聴いた後、一度電話を切る)
- 事実確認**  
(不審に思ったら最寄りの自治体や警察に問い合わせましょう)
- 「留守番電話」に設定する**  
(相手が誰か分かり、未然防止できる)

(原稿提供：多良木警察署)